

【22_323思考系メルマガ】トレードを「楽しむ」のは間違いなのか？

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

いつ言った話だったかまでは定かではないのですが

僕が「トレードはあくまで“仕事”として捉えていて、それ自体に楽しいと感じた事はあまりない」という主旨のことを言ったことがあります。

その考えは、今も変わらず持っているのですが、その後頂いたメールで

「じゃあ、トレードを“楽しい”と考えているうちは、ただしい考えが身についていないと言う事なのですか？」

という質問をされたことがあります。

その方への返信は既に行っているのですが、その時のやり取りをふと思い出したので

今日はそんな話をテーマにさせてもらおうと思って、文章を書いています。

┌
└─ トレードの「どこ」に楽しさを感じているのかが重要

結局のところ、このサブタイトルの一言に尽きるのですが

僕自身の過去から現在までを振り返ってみると、何か物事について『試行錯誤・検証することが習慣づいている』ということが

トレードにおける技術習得の考え方と相性が良かったのかもしれませんが。

言い換えれば、『別にトレード自体は好きじゃないけど、検証は夢中になってできる』ということ。

あくまでトレードという行為は、『検証結果をテスト・確認する場』であって、その結果自体が良からうが悪からうが

「なるほど、そういう結果になるのね」と認識するだけ。そこ自体に楽しさというのはあまり無い。

どちらかという、悪い結果として返ってくるのは、自分のお金が消える事なので

エントリー自体には今でもストレスを感じる方かもしれません。

それでも『自分が決めたルール』に沿ってやらないのは、それもルールに反する事になるわけなので

型が来てしまった以上は、(半ば仕方なく)エントリーする。

僕のトレードに対する意識がこんな感じなので、楽しみ(に類するもの)を感じるどころが

多くの人と少々ズレているというのが実際の所なのかもしれません。

▼参考ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1592312921941762048?s=20&t=K3D5_cS2ziOcHGSbzLNpw

なので、トレードを「楽しむこと」が悪いわけではありません。

四六時中動いているチャートを見るのが、苦痛どころか楽しいと思えるというのも

ある意味それは才能のひとつと言えます。

ただ、自分がトレードの『どこ』に楽しさを感じているのかを、解像度高く理解しておくことは

自身がトレードを技術として身につけ『ひとつの収益源』とすることを目的にして行きたいのであれば、大いに成長に役立つでしょう。

もし、1つ1つ結果にだけ注目して、大きく稼げたときの喜びを「楽しい」と感じているのであれば

それはトレードを『確率論的に捉え、トータルで利益を上げて行く』という本質的な理念から外れていることになるので

成功する確率は低くなります。

自分が、トレードのどの部分を重要視していて、モチベーションの厳選となるところがどこにあるか？

これを時間があるときに、じっくり考えてみると良いかもしれませんね。